

防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察防除情報第8号

普通期水稲 トビイロウンカの防除対策について

普通期水稲におけるトビイロウンカの発生状況は以下のとおりとなっています。
本虫の圃場での発生に十分注意し、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) 8月前期の巡回調査(85筆)の結果、株当たり虫数は0.06頭(平年 0.06頭)、発生圃場率は24.7%(平年 26.0%)と平年並であった(図1、2)。
- (2) 8月3半旬の県予察圃場(普通期、無防除)調査の結果、株当たり虫数は0.8頭(平年 0.3頭)、寄生株率は50.0%(平年 20.5%)であった。
- (3) 気象予報(福岡管区气象台、令和2年8月13日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

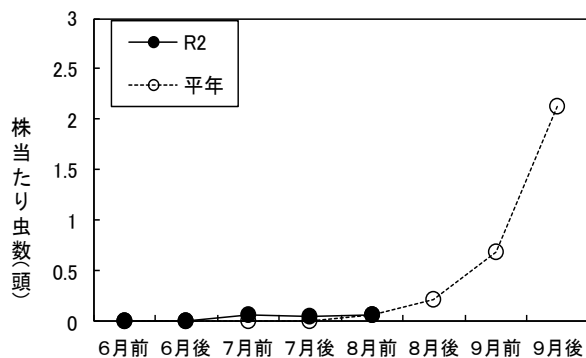


図1 トビイロウンカの株当たり虫数の推移

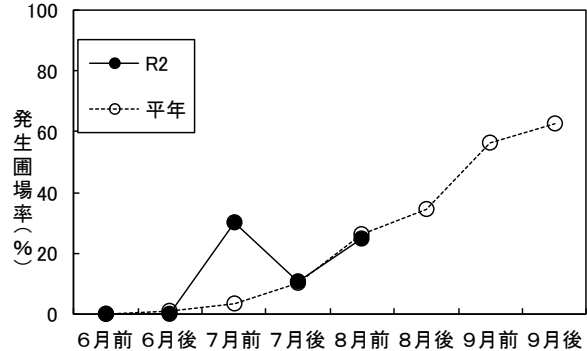
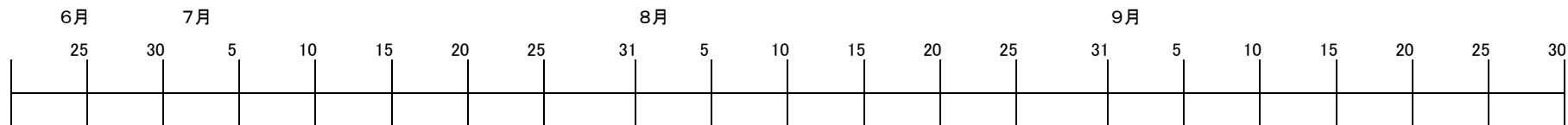


図2 トビイロウンカの発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) 今後の発生予測は別紙図のとおりであるが、本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、圃場の見回りを徹底し、できるだけ圃場全体の発生状況を把握して、適期に防除を行う。8月下旬の要防除水準は株当たり雌成虫数が1頭以上である。
- (2) 防除実施後もその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (4) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守するとともに周辺環境に配慮し、薬剤の飛散に十分注意する。

(図) トビイロウンカの発生予測図(令和2年)



(飛来日)

6月28日	成虫	卵	第一世代幼虫	成虫	卵	第二世代幼虫	成虫	卵	第三世代幼虫	成虫
7月5日		成虫	卵	第一世代幼虫	成虫	卵	第二世代幼虫	成虫	卵	第三世代幼虫
7月8日		成虫	卵	第一世代幼虫	成虫	卵	第二世代幼虫	成虫	卵	第三世代幼虫

※ 発生予測の気温は諫早市貝津町(農林技術開発センター)のデータを用いた(8月16日まで実測値、17日以降は平年値)

※ 予察灯とネットトラップ及び圃場調査より現時点での飛来日を推定した。

-
- 6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。
 - 水稻穂吸汁性カメムシ類防除のため水田に散布する殺虫剤により、ミツバチに被害が生じる可能性がありますので、十分な配慮をお願いします。
 - 長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県病虫害防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
 - この情報に関するお問い合わせは、電話をお願いします。
長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

